

いたやなぎ 町議会だより

令和元年
6月定例会

第22号
2019. 8. 9

主な内容

- 4人が一般質問 P2～5
- 常任委員会審 P6
- 研修等報告 P7

おらほぢの自慢！
～赤田地区を守って300年～

板柳町指定文化財第12号 アカマツ

町民の声を町政に

第14回定例会一般質問

第14回板柳町議会定例会が6月7日から12日までの日程で開催されました。6月10日に行われた「一般質問」に、4名の議員が登壇し質問しました。

一般質問は、議員の日常活動と町民の声や議員自身の考え方をもとに町長や教育長などの方針を問うものです。

板柳町議会では、1人60分の制限時間があります。議会だよりは、スペースの都合上、一人1ページ相当の文章量までとし、質問と答弁が要約してあります。臨場感ある本会議場での傍聴をお待ちしています。



三戸 玲子

町長の二期目の抱負

問 二期目の就任となり、この四年間でぜひやりたいと思っていることは、

答

(成田町長)

公約の1つ目は、所得の向上を目指したより豊かなまちづくりである。国道339号バイパスからふるさとセンターへのアクセス道路の整備を進め、さらに施設の魅力を高めながら、観光客や交流の人口の拡大を目指していく。

公約の2つ目は、暮らしの向上を目指したより快適なまちづくりである。老朽化が進んでいる消防庁舎の改築工事を進め、町民の皆様が安全で安心して暮らせるまちづくりを目指していく。

公約の3つ目は、町民力の向上を目指したより元気

なまちづくりである。今後は、共働き世帯がふえている中で、働きながら安心して子育てができるように、学童保育の時間延長などに取り組んでいく。

問 ふるさとセンターへのアクセス道路の計画内容。

答

(成田町長)

どのようにつくったらいのか、どういうルートでやったらいいのか、コンサルタント会社のほうに委託している。これができてくると、町でも、いろいろ参考にしながら、今後アクセス道路の整備に向けて取り組んでいきたいと考えている。

複式学級

問 東小学校の複式学級について、どのように考えているか。

答

(永澤教育長)

児童数が増えなければ、4年生が卒業するまで現在の複式学級が続くことになる。今後少子化により、児童数の減少がさらに見込まれることから、統合等について町理事者と協議して対

応したい。

問 複式学級になるとマイナズ面ばかりが目につくが、プラス面もあるのか、教育長はどのように感じているか伺いたい。

答

(永澤教育長)

メリットとしては例えば上級生がやっている学習を知ったり、逆に前にやったことを確認するメリットもある。

あるいは、マンツーマンや、子ども同士での教え合いの学習なども行う機会もふえてくる。決してマインズ面だけでなく、前向きに捉えられることもあるが、苦勞であることには変わりないと思っている。

問 小学校統合について、初めから4校を統合して1校でいくのか。2校を1校にして、複式学級を回避する可能性もあると思うが、町長の考えを伺いたい。

答

(成田町長)

それも確かに選択肢の一つにはなると思う。ただ、例えば小阿弥小学校と東小学校が統合したとしても、1学年で1学級しかできず、2校を統合しても一時的な対応だと考えている。

将来の児童数が減少している中において、4校の統合を目指したほうが子どもたちにはよりよい教育環境の整備につながっていくのではないかと考えている。

双葉町営団地

問 今の双葉町の住宅は築何年になるのか、家賃はどうなっているのか、また現在入居率は何%なのか、伺いたい。

答

(成田町長)

双葉団地は、昭和47年度から49年度までの3力年かけて15棟が建設されていて、築44年から46年経過している。

家賃については、入居者の収入及び公営住宅の立地条件や経過年数などに応じて定めているが、最低家賃が3,800円、最高家賃が1万5,900円で、平均が約5,800円となっている。

入居率については、住宅戸数80戸に対し、今年の4月1日現在では58戸に入居され、72.5%となっている。



松森 俊逸

農業の将来像

町長は農業人口が減っても、米は生産農地規模拡大、りんごはわい化栽培で生産量を維持できると12月議会で答弁しているが、具体的な数字の根拠は。

問

(成田町長)

水田について、平成30年度では担い手が680件、登録簿1,594ヘクタールのうち、利用集積面積が1,065ヘクタール。

4年前と比較すると、担い手が311件の増、利用集積が461ヘクタールの増で、規模を拡大する農家の増加とともに利用集積も進んでいる。

リンゴのわい化栽培について、平成30年度では栽培面積1,259ヘクタールのうち、わい化が334ヘクタール、丸葉が925ヘ

クタール。

8年前と比べると栽培面積はほぼ横ばいで推移しているが、わい化が42ヘクタール増加したのに対し、丸葉が52ヘクタールの減少となっている。

問

目標となるわい化率を決めるべきだと思うが、いかがか。

答

(成田町長)

目標を定める必要があるので、検討していきたい。

街路灯整備

問

街路灯の維持にあたっては、電気料の3割が町から補助交付されている。さらなる支援がされてもいいものと考えるがいかがか。

答

(成田町長)

商店街全体のことであるので、商工会を交えて話し合うことが必要だと考えている。

問

街路灯の撤去費用等に、補助増額等考えることはできないか。

答

(成田町長)

4町内の会長、商工会を入れて、話し合う機会をつくりたいと考えている。

学童クラブの利用料軽減

問

学童クラブの利用料は1人1ヶ月3,000円となっている。ひとり親で児童扶養手当受給世帯や住民税非課税世帯等の利用料免除や減免等を考えるべきと思うがいかがか。

答

(成田町長)

提案のあった世帯の状況に応じて学童クラブの利用料の免除や減免については、現在のところ考えていない。しかし、今後は学童クラブの利用時間を延長するなどサービスの向上を図りたいと考えている。

問

対象者を1年生から6年生まで広げることについても検討、研究してもいいか。

答

(成田町長)

もう一度総合的に調査し、考えていきたい。

介護福祉事業所の実情把握

問

介護職員の処遇改善等に関する積極的な施策を図るためには、各事業所の

職員総数等の実態把握が必須であり、事業所向けに聞き取りを行うべきと考えるがいかがか。

答

(成田町長)

人件費補助については考えていない。

なお、各事業所の従業員数の聞き取りについては、合計で311人で、板柳町民は105名であった。

認知症高齢者の損害賠償保険

問

認知症高齢者が徘徊等で列車の運行を妨げた場合に生じる高額な損害賠償に対応できる民間保険に町として加入し、保護者等のリスクを軽減する試みが他でなされている。1人あたり年間1,500円程度であり、財源捻出は困難ではなく、費用対効果も見込めると思うがいかがか。

答

(成田町長)

県内ではむつ市、三沢市、六ヶ所村が実施しているが、これについてはさらに調査研究していきたい。

問

今回の損害保険は、保護者や家庭の人が単独で入れば高くなる。町とし

て、福祉、公共の福祉の環境としてやるならば、福祉に非常に力を入れている町だというイメージアップにもなると思うがいかがか。

答

(成田町長)

調査して考えたい。

児童生徒に配布する各種チラシ

問

配布するチラシの中で、コミック本など教科に直接関係ないものも散見される。配布するチラシはどのようにして決めているか。

答

(永澤教育長)

コミック本等については、児童生徒が本に親しめるように工夫されているものではないかと予想しているが、不適切なものがないように学校と連絡をとりながら対応していきたい。

問

学用品のチラシの内容、特に価格については妥当性を吟味しているのか。

答

(永澤教育長)

校内で十分に協議して、教育的効果が高められるような品質で価格に適したものを吟味し設定している。



成田 陽光

運転免許証返納

問 免許証返納による不便さと交通安全の実現のバランスはとも大変なことである。板柳町における運転免許証の返納状況と返納しやすい環境整備の取り組みについてお知らせ願いたい。

答 (成田町長) 板柳警察署に確認したところ、近年では平成28年が37件、平成29年が45件、平成30年が36件となっていて、毎年40名程度の方が返納されている。

返納しやすい環境づくりについては、青森県警では自主的に運転免許を返納された方の生活を支援するさまざまなサービスを提供している。

当町においては町独自の支援事業については考えて

いないが、当町においてもタクシーの運賃割引など民間会社の優遇制度があるので、情報提供に努めてまいりたいと考えている。

問 コミュニティバスなどを走らせている地域等々は積極的に返納をしている状況もあると感じている。

答 (成田町長) 当町においてはコミュニティバスはなく、例えばタクシーは県のほうで実施している状況なので、板柳町としても情報提供にとどまらず、もう一步自主返納につながる特典を考えてもいいのではないかと思っているが、いかがか。

県内でもコミュニティバスをやっているとところもあるのですが、全国の事例をよく調査して、今後町で考えていきたい。

ただ、予算の関係もあるので、十分時間をかけて検討する必要があると考えている。

圃場整備事業

問 地域の担い手の方から条件が不利で経営自体が圧迫しかねない圃場を無理に耕作することについては限界があるという声が出ている。担い手に集約するにしても、土地改良あつての担い手への集積だということを経営者の方々が言っている。

答 (成田町長) 圃場整備事業では、深味及び太長を受益地とする深味・長野地区については平成30年度から調査計画事業に着手し、今年度は事業採択の申請及び同意聴取の実施を予定して、令和2年度の事業化を目指している。

また、三千石、石野、野中、赤田、灰沼を受益地とする三千石地区については、主体となる土地改良区がないことから、受益者の代表が中心となり、平成28年9月に受益者を対象とした地元

説明会を開催しているが、地域農業者の合意形成を図るまでには至っていない。

次に、国営土地改良事業であるが、平川二期地区において平成24年度から事業に着手し、令和3年度の完了を目指し工事が進められている。

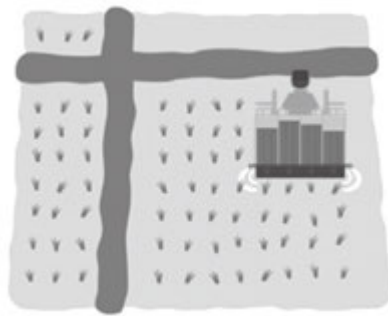
また、浅瀬石川二期地区及び浪岡川二区地区においては、現在地区調査や全体実施設計などが進められ、令和3年度の事業化を予定している。

答 (竹内地域整備課長)

事業化のためには、地域農業者の合意形成を図ることが最も重要であるため、地域農業者が事業制度を深く理解するための勉強会の環境づくりや関係機関との調整などの支援をしていきたいと考えている。

要望 三千石堰地域がこのまま土地改良が進まないでいくと、いずれは耕作放棄地になっていく可能性がとても高いと実感している。

土地改良区(※)がないので、地域のリーダーに任せっ切りではなく、引き続き町当局のほうからも働きかけを行い、そして県、国等々を巻き込んで今進めるタイミングではないかなと思っているのですが、ご尽力をお願いしたい。



問 三千石堰であるが、平成28年度から動きがないとのことなので、今後の合意形成に向けた方策を何か考えているのか伺いたい。

三千石堰であるが、平成28年度から動きがないとのことなので、今後の合意形成に向けた方策を何か考えているのか伺いたい。



(※) 土地改良区：土地改良法により、一定の地区内で土地改良事業を行うことを目的として設立される法人、公共組合(愛称：水土里ネット)。



葛西 幸男

**職員の自動車
運転事故、違反**

問 自動車運転免許証について、どの課がいつ、どのようなときに調べているのか。

また事故、違反についての報告などはどのようになされているのか。

答 (成田町長)

職員の運転免許証については、総務課において町職員の採用時に免許証のコピーを提出させている。

しかし、免許証の期限については個々に調査は実施していない。

交通事故の報告については、職員の過失により交通事故を起こした場合や飲酒、酒気帯び運転や無免許運転といった重大な義務違反をした場合、さらには運転免許の取り消しや停止処分を

受けた場合は、速やかに所属長に報告し、総務課に事故等報告書を提出することになっている。

昨年度は重大な事故はなかったが、公用車の運転中に車体をこすった事故などが3件あった。

公用車

問 公用車は任意保険に加入しているか。

答 (成田町長)

一般財団法人全国自治協会が運営する自動車損害共済事業に加入している。

問 公用車の保険は、入札などで行っているのか。

答 (田邊税務会計課長)

町、村等が加入する一般財団法人全国自治協会の保険共済事業に加入委託している、継続事業ということで加入申込手続等を行っている。

問 それは、毎年入札ではなく、同じところに入っているということか。

答 (田邊税務会計課長)

保険の取り扱いについては、全国共済事業ということで取り扱いをしているので、その都度、入札等で

決めているという状況ではない。継続して公用車、公有財産の共済事業のほうに加入している。

問 公用車、その他の役場の車について、どの課がいつ、どのようにして車検期日を調べているのか。

答 (成田町長)

一般的な車両や消防団の車両などは総務課において管理しているが、各課で使用している車両についてはそれぞれの課で車検時期などを管理している。

問 公用車にドライブレコーダーは設置されているのか。

答 (成田町長)

研修バスと福祉バスにおいて衝撃に反応し、車体前方を録画するタイプのものを設置しているが、その他の車両については設置していない。

問 ドライブレコーダーは、全部に設置されていないということか。

答 (成田町長)

町では約60台の公用車があるが、現在は研修バスと福祉バスにドライブレコーダーをつけている。

問 最近あり運転等の事故が多いので、ドライブレコーダーは、全部に設置した方が良いと思うが、いかがか。

答 (成田町長)

設置の必要性は十分認識している。まずは除雪車など必要性、緊急性の高い車両から中心に整備していきたいと考えている。

職員の服務

問 当町では職員による盗撮や窃盗などの事件は発生したことがあるか。

答 (成田町長)

町職員においては、ないが、日ごろから職員の資質向上や綱紀粛正に努めてまいりたいと考えている。

問 盗撮や窃盗の場合は、すぐ役場を懲戒免職になるのか。

答 (大井総務課長)

懲戒審査委員会というものを開いて、その職員の処分について決定することになっている。

議事を傍聴しませんか

次の定例会は9月です

<議会日程のお知らせ(予定)>

月	日	内容
9月	2日(月)	本会議 委員会報告、提案理由の説明・報告、 監査報告、決算特別委員会の設置
9月	5日(木)	本会議 一般質問
9月	6日(金)	常任委員会 総務産業厚生・福祉建設文教
9月	9日(月)	特別委員会 決算特別委員会
9月	10日(火)	特別委員会 決算特別委員会
9月	11日(水)	本会議 委員長報告、質疑・討論・採決

傍聴者名簿に住所、氏名、年齢を記入していただければ、どなたでも本会議を傍聴することができます。なお、傍聴できる人数は51人となっております。



※開催時間はいずれも午前10時です。

任 査 委 員 会 常 任 委 員 会 審 査

総務産業厚生 常任委員会

ふるさと納税

Q ふるさと納税の返礼品割合は何割くらいに設定しているか。

A 国の指針に基づき、3割以内で返礼品を出している。

りんご加工開発館

Q 研究開発するようなスタッフを新しく配置するか。また、使用料は。

A 新しい加工品を開発するために、貸し出しすることになっているため、研究員などの職員を配置することは今の段階では考えていない。町民や農家団体であれば、研究室の使用料は無料。

消防庁舎新築

Q 消防庁舎の土地はもう決まったのか。

A 国道339号線バイパス沿いを案として考えているが、まだ取得はしていない。

Q 他の場所の腹案はあるか。

A 国道に面していて、災害、出勤時にも容易に出勤できる、また、国道339号線バイパス沿いは災害が起きた場合に優先的に復旧できるといふ理由から選定をしている。その他の場所については考えていない。

青柳館

Q 青柳館は現在休業中であるが、今まで働いていた職員達はどのようにしているか。

A 青柳館で働いている職員については、本館売店、喫茶、バーベキュー広場の受付などにまわってもらっている。

福祉建設文教 常任委員会

水道料金

Q 水道料金の上げ下げについて、その時の情勢を見て行っているのか。

A 直近の料金改定は、平成26年に消費税が8%に上

がったときに行っている。その時の事情を鑑みて、健全な経営を進めていくにあたって、妥当な料金を設定している。

風疹対策

Q 風疹対策の内容は。

A 幼少時に一度も予防接種を受けていない世代（昭和37年4月1日〜昭和54年4月1日生まれ）があり、その方達へクーポン券を渡して無料で抗体検査を受けてもらい、数値が低い方には予防接種を受けてもらう流れとなる。1,466人が対象となるため、3力年で実施する。

富士加代子選手応援補助金

Q 小中学校各2名ずつと一般の方々32名分を募集することだが、オリンピックを目指す選手の姿を見せる意味でも、県民駅伝に出た選手や関係者の方を優先的に連れて行くべきだと思うがいかがか。

A 学校行事が錯綜する時期なので、学校側の意見も聞きながら対応しなくてはならないと考えている。

議会の動き (4月~6月)

開催日	会議等名	開催日	会議等名		
4月	9日	議会だより編集特別委員会	6月	5日	議員全員協議会
	10日	町例月出納検査(監査)		6日	青森県町村議会議長会臨時総会
	17日	議会だより編集特別委員会		7日	議員全員協議会
	22日	議会だより編集特別委員会		//	本会議(定例会日程、町長の提案理由等)
	24日	議会運営委員会(定例会案件)		10日	本会議(一般質問・4人)
5月	8日	国民健康保険運営協議会		11日	総務産業厚生常任委員会(所管事務調査)
	14日	板柳中学校改築特別委員会		//	福祉建設文教常任委員会(所管事務調査)
	15日	町例月出納検査(監査)		12日	議員全員協議会
	17日	西北津軽郡町議会議長会総会		//	本会議(委員長報告、採決、閉会)
	21日	福祉建設文教常任委員会協議会(管内小中学校視察訪問)		//	板柳中学校改築工事視察
	22日	町村議会広報研修会		14日	町例月出納検査(監査)
	24日	議案説明会			
	//	議員全員協議会			
	28日	全国町村議会議長会・議長副議長研修会			
31日	議会運営委員会(定例会案件)				

(※) MGC 応援事業：東京オリンピックマラソン代表を選考するレースである MGC (マラソングランドチャンピオンシップ) に出場する富士加代子選手を現地で応援する事業。

視察・研修レポート

福祉建設文教常任委員会 管内小中学校視察訪問

5月21日、板柳町管内小中学校を視察訪問しました。東小中学校をスタートに、小阿弥小学校、北小学校、南小学校、板柳中学校の順に回り、南小中学校では子どもたちと同じ給食をいただきました。

主な内容は、初めに各学校とも経営方針の説明、学業及び生活環境状況、また課題等の説明を受けた後、校内を一巡し、最後に意見交換を行いました。

学業については、県平均並みにはあるものの、学年ごとにはばらつきがあり、また苦手科目があり、各学校とも改善策を挙げております。

学校の施設環境等については、南小中学校に設置されている防風ネットの破損状況が目につきました。敷地の大半が防風ネットで覆われている南小中学校ですが、ほとんどの部分がぼろぼろの状況で、学校のみならず近隣のリンゴ畑にも何らかの被害をもたらすのではないかといた状況です。

今年から東小中学校で始まった

複式学級については、授業の様子を視察し、教わる側の子どもたち、教える側の学校サイドの大変さを実感しました。

意見交換の場では、不登校者の現状について、中学校における部活動の時間等について、また全ての校長先生の意見として、ゆるキャラあぶりんを学校行事などに参加してもらいたいなどの意見交換がなされました。少子化が進む町において、学校環境をじかに感じ取り、さまざまな問題を解消していく上で、貴重な視察訪問であったと思います。

(委員長 今 浩二)



参加者：今浩一委員長、長内良蔵副委員長、葛西幸男委員、成田陽光委員

町村議会 議員広報研修会

5月22日、県労働福祉会館において町村議会議員広報研修会が開かれました。グラフィックデザイナー長岡光弘氏を講師に、読まれる議会だよりの編集と表現の講義と議会広報のクリニックが行われました。

板柳町も議会だより第20号のクリニックを受け、表紙の題字のトーンの使い方法などについてアドバイスをいただきました。

分かりやすい議会広報を重点に編集することを理解し、今後活かしたいと思えました。

より多くの方に手にとってもらえる議会だよりとなるよう心がけます。

(委員長 成田 陽光)



参加者：成田陽光委員長、今浩一副委員長、葛西幸男委員

全国町村議会 議長・副議長研修会

5月28日、東京国際フォーラムにて全国町村議会議長会主催の議長・副議長研修会が開催されました。

町村議会特別表彰を受けた長野県喬木村議会等の事例発表や、町村議会議員の議員報酬等のあり方最終報告についての講演が主な内容でした。

最終報告書では、議員報酬の低さと議員定数の少なさが無投票当選につながるという分析結果や、議員の活動量と首長の活動量との比較により議員報酬額を算定する手法、多様な人材が議員となれるよう所得損失手当(仮称)や世話手当(仮称)といった新制度の提案などがまとめられております。

今回参加して、改めて全ては町民の福祉向上のために寄与するものでなければならぬと再確認した研修会でした。

(議長 葛西 清人)

編集後記

私が板柳町いたや町に来て37年になります。

そこで見たのが赤田地区の入りにあるアカマツでした。

今まで見たことのないくらい大きなアカマツでした。

この大きなアカマツが赤田地区の皆さんの事を守っているように感じられました。

赤田地区の皆さんも大変だと思えますけども、これから先もずっとアカマツを大事にしていただけだと思います。

(委員 葛西 幸男)

【発行責任者】

議長 葛西 清人

※第23号発行予定は11月8日頃です。

議会だよりへのご意見・ご感想をお聞かせください。

一目で分かる審議結果

○全会一致の議案

◆第14回定例会

議案	結果
専決処分の承認を求めることについて(板柳町税条例等の一部を改正する条例)	全員同意
専決処分の承認を求めることについて(板柳町国民健康保険税条例の一部を改正する条例)	全員同意
専決処分の承認を求めることについて(板柳町半島振興対策実施地域に係る固定資産税の特別措置に関する条例の一部を改正する条例)	全員同意
専決処分の承認を求めることについて(板柳町承認地域経済牽引事業のために設置される施設に係る固定資産税の特別措置に関する条例の一部を改正する条例)	全員同意
専決処分の承認を求めることについて(板柳町地方活力工場地域に係る固定資産税の特別措置に関する条例の一部を改正する条例)	全員同意
専決処分の承認を求めることについて(板柳町過疎地域における固定資産税の特別措置に関する条例の一部を改正する条例)	全員同意
専決処分の承認を求めることについて(平成30年度板柳町一般会計補正予算)	全員同意
専決処分の承認を求めることについて(平成30年度板柳町国民健康保険事業特別会計補正予算)	全員同意
専決処分の承認を求めることについて(平成30年度板柳町農業集落排水事業特別会計補正予算)	全員同意
板柳町副町長の選任につき同意を求めることについて	全員同意
板柳町介護保険条例の一部改正について	全員可決
板柳町ふるさとセンター設置条例及び板柳町ふるさとセンター施設使用条例の一部改正について	全員可決
板柳町下水道事業の設置等に関する条例の一部改正について	全員可決
消費税率及び地方消費税率の改定に伴う関係条例の整備に関する条例の制定について	全員可決
令和元年度板柳町介護保険特別会計補正予算(第1号)	全員可決
青柳館浴場改築工事請負契約について	全員可決
平成30年度板柳町一般会計繰越明許費繰越計算書について	報告のみ
新たな過疎対策法の制定に関する意見書	全員可決

○賛否の分かれた議案 ○：賛成、×：反対 ※議長は採決に加わらない。

議案	氏名										結果	
	鈴木清孝	久米田玄佐雄	成田陽光	松森俊逸	今浩一	葛西幸男	長内良蔵	佐藤洋治	成田肇	三戸玲子		北畠弘美
令和元年度板柳町一般会計補正予算(第1号)	×	○	×	○	×	○	×	○	○	○	○	賛成7人 可決

議案に対する反対討論：今浩一議員

板柳町消防庁舎の建設には大賛成であるが、建設地の場所についての議論が不足している。339号線バイパス沿いの一つの場所を候補地として、今後土地取得交渉を行っていくと言う事であるが、第二候補、第三候補などの検討も必要であると思う。早期建設に向けて、様々な検討が不足していると感じられる。

旧町内には、消防団屯所も無く、消防署が火災時の拠点になっている事なども含めて、一つの場所のみと限定するのではなく、幅広い議論が必要と思われる。

議案に対する賛成討論：なし

○全会一致の議案

◆第7回臨時会

議案	結果
福祉バス購入契約について	全員可決